

2025年度 2年 国語科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
巻頭詩「未来へ」 「あの夕暮れへ帰る」	・詩について理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・詩に描かれた言葉の意味などについて考え、内容を解釈している。 ・詩に描かれた情景や時の流れを捉え、最終連の意味を考えたり、読み取ったことを生かして音読している。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりできている	・進んで各連に描かれていることを手かりに詩の意味を考え、学習課題に沿って、工夫して音読しようとしている。 ・進んで自分の知識や体験と結び付けて筆者の考えを捉え、学習課題に沿って、自分の考えを話し合おうとしている。
言葉を感じる 「短歌を楽しむ／短歌五首」「短歌の創作」 「同訓異字」	・短歌の基本知識について理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・同訓異字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 ・同訓異字について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・短歌に詠まれた情景や心情を想像して、内容を解釈している。 ・短歌を鑑賞して理解したことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、短歌を創作している。	・進んで短歌に詠まれた情景や心情を想像し、学習課題に沿って、短歌を鑑賞して理解したことをもとに、自分の考えをまとめようとしている。 ・表現を工夫することに粘り強く取り組み、学習課題に沿って短歌を創作しようとしている。 ・進んで同訓異字について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
作品を読み解く「足跡」 「異なる考えの聞き方」 「意見と根拠の聞き方」「敬語」 「漢字の意味」	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で使っている。 ・漢字の意味を理解し、漢字を文や文章の中で使っている。	・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えている。 ・文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・相手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	・進んで登場人物の設定を捉え、学習課題に沿って、作品を読んで考えたことを知識や経験と結び付けようとしている。 ・進んで論理の展開に注意して話を聞き、学習課題に沿って、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめようとしている。 ・進んで敬語の働きや使い方について理解し、見通しを持って、敬語を話や文章の中で使おうとしている。 ・進んで漢字の意味を理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
伝え方を工夫する 「ネコだって推理できる」「情報の関係の表し方」「地域の魅力」の紹介文「類義語・対義語・多義語」「鯉節—世界に誇る伝統食」	・考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・類義語と対義語、多義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・文章のまとまりを捉えて、全体を要約するとともに、筆者の書き方の工夫について気づいたことを挙げている。 ・興味のあることをもとにテーマを設定し、さまざまな情報を集めて考えをまとめている。	・進んで文章全体を要約したり、伝統を受け継ぐことの大切さや難しさについて考えたりする学習に関心を持ち、文書の構成に着目しながら読もうとしている。 ・進んで類義語と対義語、多義語について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 ・進んで学習の見通しを持って、調べたことをまとめようとしている。
思いを深める「字のない葉書」「人物像」 「依頼状とお礼状」 「熟語の構成・熟字訓」 「文法 活用のある自立語」	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ・敬語の働きについて理解し、文章の中で使っている。 ・熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 ・用言の活用について理解している。	・登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 ・文章の構成や表現の効果について考えている。 ・登場人物の言動の意味に着目して、人物像を捉えている。 ・読み手の立場に立って、適切な表現になるように文章を整えている。	・進んで登場人物の言動の意味を考え、学習課題に沿って、文章の構成や表現の効果について考えようとしている。 ・進んで人物像の捉え方や多面性について理解し、学習課題に沿って人物像を捉えようとしている。 ・進んで読み手を意識して推敲し、学習課題に沿って、依頼状やお礼状を書こうとしている。 ・進んで熟語の構成や熟字訓について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 ・進んで用言の活用について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
説得力を高める 「黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会」 「意見と根拠の吟味」 「地図」の意見文 「同音異義語」	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解し、意見と根拠を吟味している。 ・文章の構成や展開について理解を深めている。 ・同音異義語について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 ・同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・進んで意見と根拠の関係について理解・吟味し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 ・根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、分かりやすく説得力のある意見文を書こうとしている。 ・進んで同音異義語について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
詩・日本語のしらべ 「落葉松」		・「読むこと」において、詩全体と部分との関係に注意しながら、場面の設定の仕方などを捉えている。	・進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って朗読しようとしている。

伝統文化を味わう 「枕草子・徒然草」 「平家物語」 「漢詩」 「話し言葉と書き言葉」 「紛らわしい漢字」	・漢詩の形式を理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴について理解している。 助動詞の働きを知り、さまざまな種類の助動詞がそれぞれ異なる意味を持つことを理解している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。 ・形や音の似た、紛らわしい漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。	・特徴的な表現に注意して朗読・暗唱している。 ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を捉え、作品のあらましや、武士の価値観・生き方について興味や関心を持っている。 ・進んで朗読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、古典の随筆やその筆者に興味や関心を持ち、古典に表れたものの見方や考え方について自分の考えをまとめている。 ・依頼状やお礼状を書く学習に関心を持ち、意欲的に書こうとしている。 ・進んで話し言葉と書き言葉の特徴について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 ・進んで紛らわしい漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
表現を考える 「「正しい」言葉は信じられるか」 「具体と抽象」 「プレゼンテーション」 「他教科で学ぶ漢字(1)」 「メディアの垣根を越えて／ビブリオバトル」	・意見、考えと根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・話の構成や展開について理解を深めている。 ・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫し自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・進んで構成や表現を工夫して記事を書き換え、学習課題に沿って、文章の構成や表現の効果について考えようとしている。 ・説得力のある話の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、資料や機器を活用したプレゼンテーションをしようとしている。 ・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 ・進んで読書の意義について理解を深め、学習の見通しを持って、自分のおすすめの本の魅力を伝えようとしている。
描写を味わう 「走れメロス」 「短歌から始まる物語」 「リンクマップによる話し合い」 「文法 助詞・助動詞」 「他教科で学ぶ漢字(2)」 「わたしが一番きれいだったとき」 「地球環境と人間社会」 「小学校6年の漢字」	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・助詞や助動詞の働きについて理解している。 ・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・小学校6年の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 ・場面の展開や表現の効果について考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。	・進んで登場人物の言動の意味などについて考えながら作品を読み深め、学習課題に沿って、場面の展開や表現の効果について話し合おうとしている。 ・進んで助詞や助動詞の働きについて理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 ・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 ・進んで小学校6年の漢字を書き、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
評価方法	・定期考査 ・文法テスト ・暗唱テスト ・漢字テスト などによる学習到達度で評価	・定期考査 ・レポート ・振り返り ・作文 ・作品（書写など） ・スピーチ、プレゼンテーション などによる学習到達度で評価	・授業での目標設定、振り返り ・レポート、作品などへの取り組み ・スピーチ、プレゼンテーション などによる主体的な学習関与度で評価

2025年度 2年 社会科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
世界から見た日本の姿	○地形図の約束事を理解し、その知識を身につけている。 ○地形図の適切な活用方法を身につけている。 ○世界的視野から見た日本の国土の特色について理解し、その知識を身につけている。 ○日本全体の視野からおおまかな国内の地域差について理解し、その知識を身につけている。 ○様々な資料から、日本の国土の特色やおおまかな国内の地域差についての情報を適切に読み取っている。 ○読み取った情報を図版や文章などに適切にまとめている。	○地形図を適切に活用し、地形を読み解く力を身につけている。 ○世界的視野から見た日本の国土の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○日本全体の視野から見たおおまかな国内の地域差を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○日本の略地図を描く活動に意欲的に取り組んでいる。 ○世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追及している。
戦乱から全国統一へ	○信長と・秀吉による統一事業とその当時の対外関係、戦国大名や豪商などの生活・文化の特色などの知識をもとに、中世社会の荘園制の崩壊と仏教勢力の衰退により、近世社会の基盤が作られたことを理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	○統一政権の諸政策が中世社会から近世社会への変化を導き、日本の政治や文化に与えた影響を考察するとともに、海外貿易の許容とキリスト教の禁止という相反する政策に気づかせ、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	○安土桃山時代に育まれた歌舞伎や茶の湯などの日本の伝統的文化が現代社会に受け継がれてきたことの意義について、主体的に追求しようとしている。
武士による支配の完成	○江戸幕府のしくみと大名統制、貿易統制、対外政策を理解し、知識を身につけている。 ○P.96図①の地図から、幕府の大名統制の狙いと方法を読み取っている。	○朱印船貿易から鎖国政策へと転換した理由について考察し、結果を適切に表現している。	○幕藩体制の特色や鎖国政策の狙いについて関心を高め、意欲的に追及している。
天下泰平の世の中	○江戸時代の人口構成の特色を理解し、身分制度の下、人々がどのような暮らしをしていたか理解し、知識を身に付けている ○幕府の文治政治への理解と、江戸時代の国内産業、米の生産量の増加、商業の発達と交通網の整備について読み取っている。 ○江戸時代前半の特色を政治や社会、産業、文化を通して理解し、その知識を身に付けている。	○幕藩体制の確立後、文治政治へ転換したことを理解し、朱子学を重視したわけを適切に表現している。 ○大阪が商業の中心として発達した理由を交通網の整備や江戸との関係、諸藩の蔵屋敷が置かれたことなどにふれて考察し、適切に表現している。 ○上方の町人が文化の担い手になった理由を、商業の発達や都市の繁栄などの面から考察し、適切に表現している。	○江戸時代の身分制度の下、どのような暮らしをしていたかについて、人口構成・農業の発達・進歩・交通網の整備と商業の発達、元禄文化の特色について意欲的に追及している。
社会の変化と幕府の対策	○徳川吉宗が財政の立て直しのために行った政策を文章から適切に読み取っている。 ○田沼意次と松平定信の政策の違いについて、表などで適切にまとめている。 ○百姓一揆や打ちこわしがどのようなことを背景として起こったか理解し、その知識を身に付けている。 ○幕末には文字を読める人の割合が高かった理由を寺子屋などの普及をもとに理解し、その知識を身に付けている。 ○国学や蘭学といった学問の発達によって、どのような時代の変化が生まれることになったか、自分の考えも含めて適切にまとめている。	○農村において貧富の格差が現れてきた理由を、貨幣を使う機会が増えたことなどをもとに考察し、適切に表現している。 ○田沼意次と松平定信の政策の違いについて考察し、適切に表現している。 ○印刷技術が人々に与えた影響について、浮世絵の流行や地方にも文化が伝わったことなどに着目して、考察し、適切に表現している。	○江戸時代の改革とその目的を理解し、農村にも貨幣経済が流入したことによる貧富の格差が拡大したことについて意欲的に追及している。 ○文化・文政期に、江戸を中心に娯楽性に富む、多彩な庶民文化が栄え、また、国学や蘭学などの学問や思想の中に、新しい社会を切り開く動きが生まれてきたことについて意欲的に追及している。
日本の地方のようす	○北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的特色を、各地方に設定した考察の仕方をもとに理解し、その知識を身につけている。 ○様々な資料から、日本の各地方の地域的特色について情報を適切に読み取っている。 ○読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。	○北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的特色を各地方に設定した考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○日本の各地方に設定した考察の仕方に基づき、各地方の特色ある地理的事象や事柄を意欲的に追及している。 ○日本の各地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追及している。
身近な地域を調べてみよう	○市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法を身につけている。 ○身近な地域の自然環境・産業・文化・歴史的背景などを概観し、身近な地域についての基礎的・基本的な知識を身につけている。 ○身近な地域に関する様々な資料を収集し、その資料から、身近な地域の地域的特色についての情報を適切に読み取っている。 ○読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。	○身近な地域の地域的特色を捉える適切な主題を設定している。 ○市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法をもとに、身近な地域の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○身近な地域の課題を見出し、地域の将来像などを考察している。	○市町村規模の地域の調査に対する関心を高め、身近な地域の地域的特色を意欲的に追及している。 ○適切な主題の設定、調査方法の吟味、資料の収集と選択、調査活動、調査結果のまとめ、発表などを意欲的にやっている。 ○身近な地域の地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとしている。

欧米諸国における「近代化」	○イギリスの産業革命、米仏の市民革命、欧米の世界進出とアジアの状況について理解している。 OP.134図③の年表と P.141 図④の地図から、欧米の近代化とアジア進出を読み取っている。	○産業革命や市民革命の背景と影響について考察し、結果を適切に表現している。	○欧米諸国で成立した近代社会の特質について関心を高め、意欲的に追及している。
新しい価値観のもので	○開国から明治維新への動き、明治政府の新政策、文明開化の実態について理解している。 OP.154 図①の銀座を描いた錦絵から、文明開化のようすを具体的に読み取っている。	○開国から明治維新にいたる経緯と新政府の課題を考察し、適切に表現している。	○欧米諸国との接触により生じた変化について関心を高め、意欲的に追及している。
近代国家への歩み	○沖縄県・北海道開拓と国境の画定、自由民権運動、憲法制定と国会開設を理解している。 OP.165 図②の自由民権運動の演説会の絵を読み取り、空欄に適切な台詞を入れている。	○近代国家としての国内整備と外交政策について考察し、適切に表現している。	○明治政府が進めた国内整備と外交政策について関心を高め、意欲的に追及している。
帝国主義と日本	○帝国主義の動向、日清・日露戦争と条約改正、韓国併合について理解している。 OP.174 図②と P.176 図①の風刺画を手掛かりに、日清・日露戦争の意味を読み取っている。	○日清・日露戦争の背景と内外への影響について考察し、適切に表現している。	○日清・日露戦争の背景と内外に与えた影響について関心を高め、意欲的に追及している。
評価方法	定期テスト 授業プリント 提出物（ワークなど） 小テストや単元テスト 調べ学習と発表 など	定期テスト 授業プリント 提出物（ワークなど） 小テストや単元テスト 調べ学習と発表 など	授業プリント 振り返り 調べ学習と発表 取り組みの成果物 など

2025年度 2年 数学科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 文字式を使って説明しよう [式の計算]	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	・多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。	・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。	・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

6 章 起 こりやす さをとら えて説明 し よ う [確率]	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて，場 合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を 理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し，場合の数をもと にして得られる確率の求め方を考察し表現する ことができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え，考察し表現す ることができる。	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性 と意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだ ことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って 検討しようとしている。
7 章 デ ータを比 較して判 断しよう [デー タの比較]	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解してい る。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデー タを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の 傾向を比較して読み取り，批判的に考察し判断す ることができる。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考え ようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学 習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の 過程を振り返って検討しようとしている。
評価方法	授業での提出物など、定期テスト	授業での提出物など、定期テスト	授業での提出物など

2025年度 2年 理科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学変化と原子・分子	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子、化学変化、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のなり立ち、化学変化、化学変化と物質の質量、について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質やその量的な関係の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のなり立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生物の体のくりとはたらき	生物のからだのつくりとはたらきとの関係、植物のからだのつくりとはたらきとの関係、動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞、葉・茎・根のつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞、植物のからだのつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらき、植物のからだのつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞、植物のからだのつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、刺激と反応に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地球の大気と天気の変化	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害などについての基本的な概念や原理・などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電流とその利用	静電気、電流、電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギー、磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	静電気、電流、電流と磁力線との関係、電流の磁気作用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気と電流の性質や規則性、電流と電圧の規則性や関係性、電流と磁界の関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	静電気、電流、電流と磁界に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期テスト 実験レポート 小テスト 調べ学習レポート発表	定期テスト 実験レポート 小テスト	提出物 実験レポート 調べ学習レポート 小テスト

2025年度 2年 音楽科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱 My Own Road	各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。	音色、テクスチャの変化とイメージのかかわりを説明することができる。 リズムの変化とイメージのかかわりを具体的に説明することができる。	自分たちの声部の課題、改善のための具体的な方法を話し合い、練習にとりくんでいる。 またその練習の過程を具体的に説明している。
鑑賞 交響曲第5番ハ短調	作曲家や曲の構造について正しい知識を身につけている。	各主題の音色、旋律、リズム、テクスチャと音楽から生まれるイメージとのかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
指揮	基本的な動きを身につけている。 強弱、リズムにあわせて動きを工夫し、体で表現することができる。	曲想にあった指揮をするためにどのような動きをすればよいのか、図や言葉で説明することができる。	まわりの意見や動きを参考に自分の考えを深め、自身の課題を分析、改善しようとしている。
歌唱 夏の思い出	作詞作曲家について正しい知識を身につけている。 情景に合わせて強弱をつけて歌うことができる。	歌詞の意味を理解し、情景やそれを見ている人の気持ちと強弱、リズム、旋律とのかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
歌唱 サンタルチア	音楽記号の読み方や意味を理解している。 強弱変化をつけて独唱にふさわしい豊かな発声で歌うことができる。	音色、強弱、リズム、旋律の変化、発声の工夫点を具体的に説明することができる。	自分の課題分析やまわりからのアドバイスをもとに、自分の演奏の改善しようとしている。
創作 リズムアンサンブル	音符、休符の名前や長さについて正しい知識を身につけている。 音符をよんでリズム打ちをすることができる。	ことばのリズムを音符や休符を使って表すことができる。 リズムにあったことばを考えることができる。 リズム、テクスチャと表現したい物語とのかかわりを考えながら創作し、その説明をすることができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 グループの話し合いに積極的に参加し、表現したい物語やそのために必要なリズムやテクスチャを考え、意見をだしている。
鑑賞 フーガト短調	作曲家や曲の構造、楽器の構造について正しい知識を身につけている。	音色、形式構成と音楽から生まれるイメージとのかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
歌唱 混声合唱	様々な歌唱形態や声部に関する知識を身につけている。 各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。 演奏順序を表す記号の意味と楽譜の見方を理解している。	音色、テクスチャの効果を考え、どのように工夫するかを考え説明している。	自分たちの声部の課題、改善のための具体的な方法を話し合い、練習にとりくんでいる。 またその練習の過程を具体的に説明している。
器楽 アルトリコーダー	運指、息づかい、アーティキュレーションの工夫をして美しい音色で吹くことができる。 高い音と低い音の息づかいを工夫して吹き分けることができる。	曲想にあったアーティキュレーションを考え、その理由を説明することができる。 高い音と低い音をそれぞれ美しい音色で演奏するための工夫(体の使い方)を具体的に説明することができる。	どのような工夫をすれば美しい音色でなめらかに演奏できるか等、まわりの意見を参考に自分の考えを深め、学びの過程を具体的に説明している。
評価方法	小テスト、実技テスト	小テスト、プリント	プリント(他者との交流内容・振り返り)、授業の様子、実技テストの態度

2025年度 2年 美術科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画分野	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	・対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。
デザイン 工芸分野	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えること理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	・構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 ・使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞分野	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えること理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	授業プリント、課題プリント、作品	授業プリント、課題プリント、作品	授業プリント、課題プリント、作品の仕上がり度(計画的に課題を完成させられるか)課題の提出状況、毎時の振り返り

2025年度 2年 保健体育科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	○知識 ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
器械運動	○知識 ・器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組もうとするとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
陸上競技	○知識 ・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡してタイミングを合わせることができる。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
水泳	○知識 ・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
球技	○知識 ・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

武道	○知識 ・武道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ○剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・武道に積極的に取り組もうとするとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
ダンス	○知識 ・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなと踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
体育理論	・運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的效果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解している。 ・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解している。 ・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価規準は設定していない。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。
保健	・健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。 ・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。	・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価方法	・小テスト ・単元テスト ・単元レポート ・実技テスト	・単元レポート ・授業プリント ・小テスト	・単元レポート ・授業の取り組みの様子など ・授業の参加状況（欠席、見学、遅刻、忘れ物）など

2025年度 2年 技術家庭科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報	・コンピュータの五大機能 ・情報のデジタル化としくみ ・デジタル情報の特徴 ・情報通信ネットワークの構成、情報伝達 ・Web のしくみと情報の表現 ・情報セキュリティ 以上について理解している	・2 進数からデジタル化ができる ・情報をパケット化し、複合化できる ・自身のホームページを作成できる	社会と情報のかかわりを意識している。
電気	・エネルギー変換 ・発電と送電のしくみ ・工具の適切な扱い方 ・製品安全のための 3 者の役割 ・事故原因と防止方法 以上について理解している	・町の電力を調整することができる ・事故原因と防止方法について、3 者の立場から考えることができる	「品質と時間」のトレードオフを意識した言動をしている
生物	・生活や社会を支える生物育成技術 ・植物、動物、水産生物、林業についての育成技術 以上について理解している	・ミニトマト、ニワトリ、サーモンの生育特性について、考えることができる	生物と人間のかかわりを意識している
食生活	・中学生に必要な栄養。 ・調理の基本 ・食材と食中毒の関係 ・生鮮食品、加工食品の選択と保存 ・食品の表示 ・食の伝統文化 以上について理解している	調理実習において、効率のよく調理ができるよう工夫し計画を立てている。	食生活から、自分の生活を振り返り、改善しようとしている。
住生活	・住まいの様々な役割 ・家庭内の安全 ・災害への備え 以上について理解している	未来の住居について考え、3D モデルを作成できる	住生活から、自分の生活を振り返り、改善しようとしている
評価方法	・ICT 家事スキルテスト ・実習製作品 ・デジタルワークシート	・自己申告書 ・実習製作品 ・デジタルワークシート	・授業態度(提出物含む) ・実習製作品 ・月課題

2025年度 2年 英語科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0 My Spring Vacation	(知識) 過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたりする技能を身に付けている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。
Unit 1 What can we experience on a trip?	(知識) 未来を表す be going to や will を用いた文、<show など+人+もの>、<call+A+B>の文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 未来を表す be going to や will を用いた文、<show など+人+もの>、<call+A+B>の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身に付けている。	留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Real Life English I 機内放送	(知識) 予定などを伝える表現の意味や働きを理解している。 (技能) 予定などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、近い未来の情報について話される内容を捉える技能を身に付けている。	旅行を楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取っている。	旅行を楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取ろうとしている。
Grammar for Communication 1	(知識) 5つの文構造の形・意味・用法を理解している。 (技能) 動詞の種類や伝えたい内容に合わせて、適切な構造の文を使い分ける技能を身に付けている。		
Unit 2 What is local food?	(知識) 接続詞 when, if, because, that を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 接続詞 when, if, because, that を用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身に付けている。	ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。	ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている
Real Life English2 旅行先で	(知識) ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味の働きを理解している。 (技能) 相手にしてほしいことについて、ていねいに許可を求める表現や依頼する表現を用いて、伝えたり答えたりする技能を身に付けている。	旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしている。	旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしようとしている。
Grammar for Communication 2	(知識) 接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 (技能) 2 つ以上の文の関係を考えて、適切な接続詞を使う技能を身に付けている。		
Unit 3 What kind of job are you interested in?	(知識) 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の起因、すべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身に付けている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
Real Life English3 仕事についてのインタビュー	(知識) 時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きを理解している。 (技能) 時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、仕事についてのインタビューを聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えている。	相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えようとしている。
Learning Technology in English 技術・家庭(技術)	(知識) ロボットが活躍する社会に関する語彙を理解している。 (技能) ロボットが活躍する社会に関する語彙の理解をもとに、これからの社会について考えを伝え合う技能を身に付けている。	ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりしている。	ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりしようとしている。
Grammar for Communication 3	(知識) 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身に付けている。		

Stage Activity 1 My favorite Japanese Food	(知識) Unit3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) Unit3 までの学習事項を用いて、いちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を整理し、メモをまとめて話す技能を身に付けている。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話している。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話そうとしている。
Let's Read 1 History of Clocks	(知識) 時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。 (技能) 時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る技能を身に付けている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。
Unit 4 What is important in a homestay?	(知識) have to, 助動詞 must, 動名詞の形・意味・用法を理解している。 (技能) have to, 助動詞 must, 動名詞の理解の理解をもとに、しなければならぬことと決まりごと、楽しんでいることなどについて話す技能を身に付けている。	海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Real Life English4 ホームステイのお礼状	(知識) 手紙を書くときの基本的な構成と表現を理解している。 (技能) 手紙を書くときの基本的な構成と表現を用いて、お世話になったことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身に付けている。	ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。	ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書こうとしている。
Grammar for Communication 4	(知識) 助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 助動詞を用いて、できることやしなければならないことを伝える技能を身に付けている。		
Unit 5 What design is good for everyone?	(知識) 〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれいことなどについて話す技能を身に付けている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。
Real Life English5 アナウンス・案内	(知識) イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解している。 (技能) イベントの情報などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、アナウンスやスタッフの案内の内容を聞き取る技能を身に付けている。	行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
Learning Social Studies in English 社会	(知識) SDGs に関する語彙を理解している。 (技能) SDGs に関する語彙の理解をもとに、SDGs の目標について読み取る技能を身に付けている。	持続可能な社会について考えるために、SDGs の目標について理解し、取り組んでいきたいことを整理して話している。	持続可能な社会について考えるために、SDGs の目標について理解し、取り組んでいきたいことを整理して話そうとしている。
Unit 6 How can we make a good presentation?	(知識) 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身に付けている。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Real Life English6 電車の乗り換え	(知識) 乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の意味や働きを理解している。 (技能) 乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の理解をもとに、乗り物での行き方を伝える技能を身に付けている。	相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えている。	相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えようとしている。
Grammar for Communication 5	(知識) 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 複数のものや人について、形や性質、気持ちなどを比較して伝える技能を身に付けている。		
Stage Activity 2 My School and School Life	(知識) Unit 6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) Unit 6 までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身に付けている。	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している。	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明しようとしている。
Let's Read2 A Glass of Milk	(知識) 場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。 (技能) 場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身に付けている。	気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。	気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。

Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	(知識) 受け身の文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くとしている。
Real Life English7 買い物	(知識) 好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。 (技能) 好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。	買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を伝えている。	買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を伝えようとしている。
Grammar for Communication 6	(知識) 受け身の文の形・意味・用法を理解している。 (技能) 身のまわりのことや人について、受け身の文を用いて、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。		
Stage Activity 3 Let's Have a Discussion	(知識) Unit 7 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している (技能) Unit 7 までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。
Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	(知識) 時系列を表す文章構成や語句を理解している。 (技能) 時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。
評価方法	定期テスト、小テスト、提出物、授業の様子	定期テスト、実技テスト、提出物、授業の様子	実技テスト、提出物、授業振り返り、授業の様子